



企業部門 農林水産大臣賞

生活協同組合コープこうべ

(兵庫県神戸市)

「食べもの」を真ん中に、消費者と生産者がともに気づき、学び、考える

私たちのふだんの食やくらしが、食べものを生み出す一次産業、それを取りまく自然環境とも密接につながっています。料理会、学習会、産地見学、体験活動を通じ、気づき、学び、考える取り組みをすすめています。



漁師体験プログラム

長年にわたり組合員とともにすすめてきた「食と環境」の活動が評価され、たいへんうれしく思います。今後も行政や関係団体等と協力しながら、持続可能な地域社会づくりをめざす生協として、次世代につなげる取り組みをより一層推進してまいります。



生活協同組合コープこうべ
組合長理事 本田 英一

よりよい消費生活のための活動

大正13年に、よりよい消費生活のため「家庭会」を創設。組合員が自ら料理会・学習会を企画・主催し、栄養バランス、安全・安心などの食育活動を展開しています。近年は、食を支える生産現場やその背景にある環境にも学びの視点を拡大。生産者と消費者の交流にも力を入れており、酪農、農業、漁業など多岐に及ぶ体験活動を実施しています。年間1,000回を超えるプログラムに、延べ70,033人の方に参加していただきました。



浜坂漁協との交流

環境と共生する農業を目指す

店舗から出る野菜くずなどを「コープ土づくりセンター」でたい肥化し、地元農家とともに設立した農業法人「みずほ協同農園」で野菜を生産しています。野菜は店舗でフードプラン商品として供給。農園は農業体験の受け入れや新規就農者の研修施設としても機能しています。



エコファーム講座(はじめての菜園づくり・実習)